

無線訓練 (デジタル無線訓練の必要性と訓練現状について)

災害時はなによりも早期に対応することが大切になってきます。そのため通信網の確保は最重要事項と言っても過言ではありません。東日本大震災では地震や津波の影響により、最大 120 万を超える加入電話に障害が発生するなど、ライフラインである情報通信ネットワークに大きな被害が発生し、救援・復旧活動等に支障が生じました。上尾中央医科グループ(以下、AMG)臨床工学部では東日本大震災を教訓として、2016 年から上尾中央総合病院を中心とした近隣の下記 AMG 透析施設にてデジタル無線訓練をおこなっています。

上尾中央総合病院
エイトナインクリニック
トータルメディカル SPD(AMG 物品倉庫)

上尾中央第二病院
伊奈病院

上尾中央腎クリニック
白岡中央総合病院

西大宮腎クリニック
蓮田一心会病院

デジタル無線訓練は埼玉県透析災害対策協議会主催の MCA 無線訓練に併せて、年間 4 回おこなっています。また、上尾中央総合病院ではスタッフ全体のデジタル無線訓練の熟練度向上と、苦手意識克服のため、看護師と臨床工学技士が共同で無線応答と書記を行っています。訓練では、各施設の施設被害状況・患者依頼人数・患者受け入れ人数を報告・共有し、グループ病院の特色を生かしたスムーズな患者移送ができるようおこなっています。

今後も、発災時に迅速な対応ができるように訓練を重ねていきたいと考えています。

上尾中央総合病院 血液浄化係 小澤 正宜 帝京平成大学出身

